



記者発表資料

	令和2年6月25日
	保健福祉局健康福祉部 健康支援課
	電話 238-9922
	内線 97-2201

新たに不育症検査費の助成を開始します！

～保険適用外の不育症検査に要した医療費の2分の1（上限10万円）の助成を開始～

千葉市では、不育症に悩む夫婦が早期に不育症の検査を受けてリスク因子を特定し、適切な治療及び出産につながるため、新たに不育症検査費の一部助成を開始しますので、お知らせします。

1 趣旨・目的

不育症に悩む夫婦の経済的負担を軽減し、早期に検査を受けて適切な治療及び出産につながるとともに、不育症検査費助成事業の周知を図ることで、不育症を知らなかった夫婦が不育症を知って検査を受けるきっかけとなることを目的とします。

<不育症とは>

妊娠はするものの、2回以上の流産・死産を繰り返し、子どもをもつことができない場合を不育症と言います。ただし、検査を行いリスク因子を特定し、適切な治療を受けることで、出産につながると言われています。

2 対象者

以下のすべての要件を満たしている方が対象です。

- (1) 検査を受けた日において、法律上の婚姻をしている夫婦
- (2) 検査を受けた日において、夫婦のいずれか一方又は双方が本市に住所を有すること
- (3) 2回以上の流産、死産、あるいは早期新生児死亡の既往があると医療機関の医師に診断されていること
- (4) 夫及び妻の前年の所得（1月1日から5月31日までの間に助成申請をする場合は、前々年の所得）の合計額が730万円未満であること
- (5) 検査を受けた日における妻の年齢が43歳未満であること

3 助成内容

対象者が医療機関で受けた、医療保険法各法の適用とならない（保険適用外）以下の不育症検査に要した費用のうち、2分の1の額を助成します（上限10万円）。令和2年4月1日以降に受けた検査が対象です。

<助成対象となる検査項目>

項目	
抗リン脂質抗体	抗カルジオリピンβ ₂ グロブリン I (CLβ ₂ GPI) 複合体抗体
	抗カルジオリピン IgG 抗体
	抗カルジオリピン IgM 抗体
	ループスアンチコアグラント
	抗PEIgG 抗体 (抗フォスファチジルエタノールアミン抗体)
	抗PEIgM 抗体 (抗フォスファチジルエタノールアミン抗体)

凝固因子検査	第Ⅻ因子活性
	プロテインS 活性または抗原
	プロテインC 活性または抗原
	APTT (活性化部分トロンボプラスチン時間)
内分泌検査 (甲状腺機能)	TSH
	fT4 値
	TPO 抗体
子宮形態検査	子宮卵管造影検査 (HSG)
	ソノヒステログラフィー
	MRI 検査
	子宮鏡
夫婦染色体検査、流産胎児の絨毛染色体検査	

4 申請方法

対象者が居住する区の保健福祉センター健康課に申請が必要です。

<申請受付開始日> 令和2年7月1日(水)

5 周知方法

各区保健福祉センター健康課窓口および特定不妊治療費助成事業の県内指定医療機関においてリーフレットを配布するほか、市政だより7月号およびホームページに掲載します。

6 問い合わせ・申請先

各区保健福祉センター健康課

	電話番号	FAX 番号
中央区	221-2581	221-2590
花見川区	275-6295	275-6298
稲毛区	284-6493	284-6496
若葉区	233-8191	233-8198
緑区	292-2620	292-1804
美浜区	270-2213	270-2065